

広報

けせんぬま・もとよし広域

2021.3.1

No. 71



最優秀賞:「気嵐の満船入港」(魚市場)
菊田 清一さん(気仙沼市)

※「題名」(撮影地)
氏名(住所)の順

第5回
気仙沼・南三陸

フォトコンテスト入賞作品決定!!

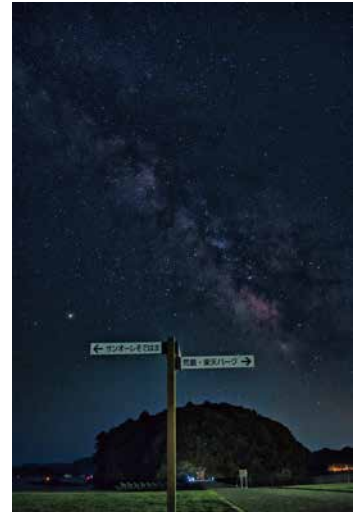
※入賞作品27点は、4月25日(日)までリアス・アーク美術館で展示されています。

CONTENTS

- 気仙沼・南三陸フォトコンテスト入賞作品……………①
- 令和3年度組合一般会計予算……………③
- 人事行政の運営等の状況について……………④
- リアス・アーク美術館 令和3年度の催事紹介……………⑥
- 広域消防 令和2年消防統計……………⑧

優秀賞

※「題名」(撮影地)
氏名(住所)の順



「夏銀河」(サンオーレそではま)
小野寺 清春さん(南三陸町)



「気仙沼・魚町のシンボル」(魚町)
三浦 明彦さん(登米市)

佳作



「アナゴ漁を終えて」(袖浜)
藤島 純七さん(仙台市)



「潮吹と龍の松」(岩井崎)
村上 淳さん(気仙沼市)



「朝霧」(廿一地区)
足利 義信さん(一関市)



「いつまでも。」(宝鏡寺)
菊田 富美さん(気仙沼市)



「横断橋の釣り場」(小々汐)
佐藤 弘志さん(気仙沼市)



「竜に乗った少女砂像」(お伊勢浜)
大井 憲一さん(気仙沼市)



「早朝の気嵐」(魚市場)
菊田 清一さん(気仙沼市)



「霞の中煌めく」(安波山)
松田 浩平さん(北海道)



「虹色の魚市場」(魚市場)
吉田 真一さん(気仙沼市)

賞候補

※「題名」氏名
(住所)の順



「かなえおおはし」(小々汐)
村上 宏之さん(気仙沼市)

- ▽「北天めぐる軌跡」
小野寺清春さん(南三陸町)
- ▽「保留網を解け！」
菊田清一さん(気仙沼市)
- ▽「茜色の岩井崎」
佐藤弘志さん(気仙沼市)
- ▽「初詣」足利義信さん(一関市)
- ▽「気嵐立つ朝」
菊田富美さん(気仙沼市)
- ▽「昔ながらの田園風景」
藤島純七さん(仙台市)
- ▽「開通待つ三陸道」
村上宏之さん(気仙沼市)
- ▽「気仙沼湾横断橋」
高橋太治さん(石巻市)
- ▽「オリオンの目覚め」
村上淳さん(気仙沼市)
- ▽「目覚めの時」
村上淳さん(気仙沼市)
- ▽「どんな町になるんだろう？」
佐藤正行さん(南三陸町)
- ▽「エモーショナル気仙沼」
松田浩平さん(北海道)
- ▽「海風がこころよい」
木村東仁さん(一関市)
- ▽「希望のイルミネーションツリー」
三浦明彦さん(登米市)

「未来に残したい、私たちの今」をテーマに気仙沼市・南三陸町で撮影された写真を対象とした、当組合主催のフォトコンテストの入賞作品が決定しました。今回は、二十八人の方から六十七点の作品をご応募いただきました。

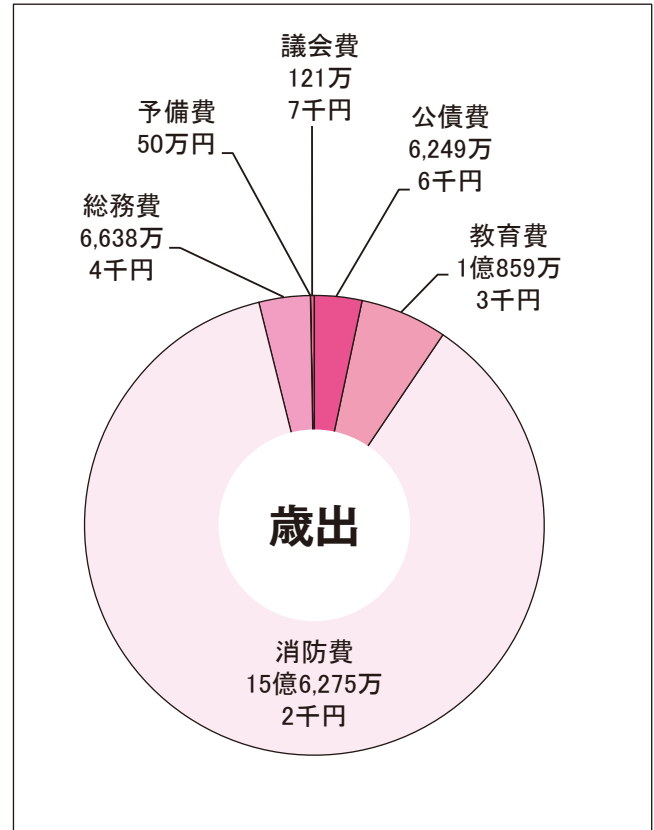
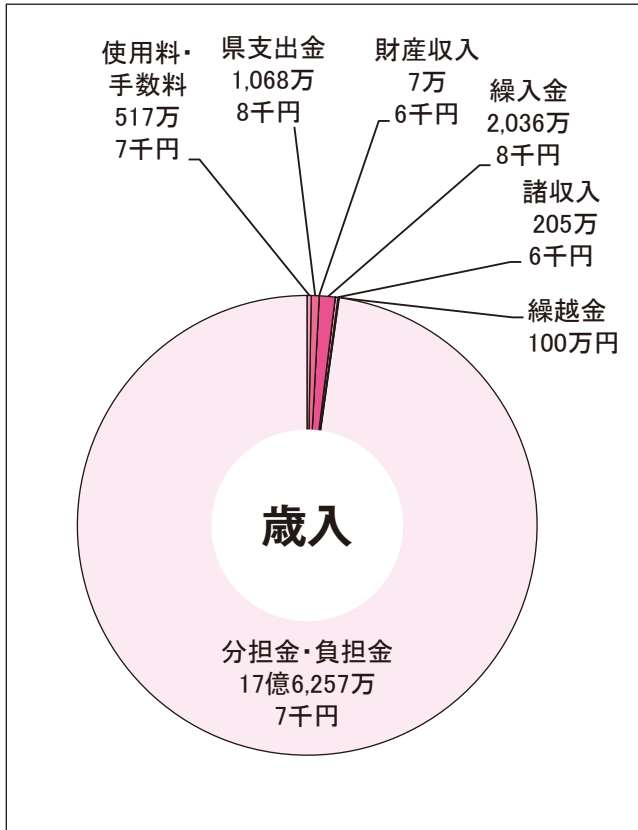
審査は、一月十五日に気仙沼・本吉広域防災センターで行われ、審査委員長でプロカメラマンの斎藤秀一氏(斎藤秀一写真事務所・仙台市在住)より、「震災直後から比べると全体的にかるやかな写真が多くなったように感じる。また、新型コロナウイルスの影響で応募数が少ないと思っていたが、高いレベルの写真が集まってとても嬉しく思う。イベントの写真が少なかつたことだけが残念に感じた。」との総評をいただいております。

令和3年度 予算の概要をお知らせします






総額

18億194万2千円

令和3年2月9日に開かれた第218回組合議会定例会において、『令和3年度一般会計予算』が原案のとおり承認されましたので、そのあらましについてお知らせします。



歳出の主な内容

<p>議会費 121万7千円 (0.07%) 組合議会運営費</p> 
<p>総務費 6,638万4千円 (3.68%) 一般事務費、計画策定費、 リアス・アーク美術館企画展等</p> 
<p>消防費 15億6,275万2千円 (86.72%) 防災・消防・救急活動費・施設管理費等</p> 
<p>教育費 1億859万3千円 (6.03%) リアス・アーク美術館施設管理費等</p> 
<p>公債費・予備費 6,299万6千円 (3.50%) 組合債の返済金等</p> 

令和3年度の主な事業

- 第6回気仙沼・南三陸フォトコンテスト
- 消防広報車及び可搬式小型ポンプ取得 (古町出張所)
- N.E.blood21 vol.76 ~ vol.77 (東北・北海道在住の若手作家紹介シリーズ展)
- 東日本大震災発生10年特別企画展開催事業
- リアス・アーク美術館円卓会議

※()内は構成比

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区 分		全職種
支給実績（令和元年度決算）		1,678,300円
手当の種類（手当数）		7種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（令和元年度決算）		11,988円
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度決算）		71.1%
内 容	①高度救命処置手当 1回 1,000円	②救急業務手当 1回 100～200円
	③機関手当 1回 100円	④災害業務手当 1回 200円
	⑤救助業務手当 1回 200～500円	⑥救急艇出動手当 1回 200円
	⑦防疫等作業手当 1日 3,000円～4,000円	

(4) 一般会計における時間外勤務手当

令和元年度	支 給 総 額	39,909,837円
	職員1人あたりの支給年額	216,901円
平成30年度	支 給 総 額	32,366,157円
	職員1人あたりの支給年額	177,836円

(5) 一般会計におけるその他の手当（令和2年4月1日現在）

区分	内 容
扶養手当	1 配偶者・父母等：6,500円、子：10,000円
	2 その他の扶養親族：1人につき、6,500円
	3 特定扶養（満16歳～22歳までの子）：1人につき5,000円加算 ○ 国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1 借家・借間に居住している職員：27,000円を限度に家賃に応じて支給 ○ 国の制度との異同：国と同じ
	通勤手当
2 交通用具の利用者：使用距離に応じて、2,400円～32,700円を支給 ○ 国の制度との異同：1については、国と同じ 2については、国は2,000円～31,600円を支給	

6. 特別職の報酬等

（令和2年4月1日現在）

職 名	区分	報酬額	職 名	区分	報酬額	
管 理 者	年額	69,000円	情報公開・ 個人情報保護 審査会委員	日額	30,000円	
副 管 理 者	年額	60,000円		弁 護 士 知識経験者	日額	7,400円
議 会	議 長	年額	56,000円	リアス・アーク美術館 協議会委員	日額	7,400円
	副 議 長	年額	48,000円			
監査委員	議 員	年額	46,000円	ふるさと市町村圏計画広域 活動計画策定住民協議会委員	日額	7,400円
	議 会 選 出 識 見 を 有 す る 者	日額	7,400円		日額	7,400円
教育委員会	教育長	年額	48,000円	地方公務員法第三条第三 項第二号及び第三号に掲 げる特別職の職員	日額	7,400円
	委 員	日額	7,400円		日額	予算の範囲内 で任命権者が 定める額

7. 職員の勤務条件、服務、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間	始業時間	終業時間	休憩時間
1日7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時から 午後1時

(2) 休暇の種類など

種 類	内 容
年次有給休暇	年20日付与
病気休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇 （主なもの）	結 婚 休 暇：連続する7日以内
	忌 引 休 暇：配偶者10日、血族の父母7日など
	夏 季 休 暇：7月～10月までの期間において3日以内
	産前・産後休暇：産前8週間以内の申し出た期間、産後8週間 育児時間休暇：1日1時間または1日2回、それぞれ30分
その他の休暇	介 護 休 暇：通算して6ヶ月の範囲内で、3回を超えない範囲

(3) 育児休業の状況（令和元年度）

区 分	男 性	女 性	計
取 得 者	0人	0人	0人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（令和元年度）

①分限処分

免 職	休 職	降 任	降 給	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免 職	停 職	減 給	戒 告	計
0人	0人	1人	5人	6人

※地方公務員法第28条第4項の規定により、1人が失職となっている。

(5) 職員の服務の状況

職員の服務規律は、次の条例などに規定し、公務員としての綱紀の保持に努めています。

- ①職員の服務に関する規則
- ②職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（令和元年度）

①職員研修の実施状況

区 分	受講者数 (延べ数)	研 修 名 等 (人数)
宮城県消防学校	23人	・初任総合教育(2) ・中級幹部科(2) ・上級幹部科(1) ・警防科(2) ・火災調査科(2) ・予防査察科(2) ・特殊災害科(2) ・救急救命士再教育講習(2) ・救急救命士処置拡大講習(3) ・指揮隊長教育講習(1) ・救助隊員再教育講習(2) ・救急隊員再教育講習(2)
消 防 大 学 校	2人	・予防科(1) ・女性活躍推進コース(1)
救急救命東京研修所	2人	・救急救命士養成(2)
そ の 他 (宮城県主催等)	261人	・人事評価研修(187) ・時事講演会(44) ・その他(30)
合 計	288人	

②勤務成績の評定の状況

職員がその職務を遂行するに当たり、発揮した能力及び挙げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とするほか、職員の人材育成や組織全体の士気及び公務能率の向上を図る目的として活用します。

8. 職員の健康管理及び公務災害補償制度の状況（令和元年度）

(1) 健康診断の状況

区 分	受診者数(延べ数)	内 容 等 (人数)
総合健康診断	244人	・人間ドック(38) ・脳ドック(9) ・各種がん検診(197)
定期総合診断	350人	・法定健康診断等 春季(198) 秋季(152)

(2) 公務災害の認定状況

加 入 団 体	認定件数
地方公務員災害補償基金 宮城県支部	0件

9. 公平委員会の状況（令和元年度）

県人事委員会より報告を受けた公平委員会の業務の状況

- ①勤務条件に関する措置要求：該当なし
- ②不利益処分に関する不服申立：該当なし

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

組合職員の任免、給与、勤務条件などの公平性及び透明性確保のため、地方公務員法及び組合条例の定めにより、人事行政の運営等の状況について公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況(特別職を除く)

(1) 職員数の状況

区分	H31. 4. 1現在 職員数 (うち再任用者数)	H31. 4. 2~R2. 4. 1			R2. 4. 1現在 職員数 (うち再任用者数)
		退職者数	失職者数	新規採用者数	
一般職	12(0)人	0人	0人	8人	20(0)人
消防職	185(0)人	3人	1人	4人	185(0)人
合計	197(0)人	3人	1人	12人	205(0)人

(2) 部門別職員数の状況

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
	令和2年度	令和元年度			
一般行政 部門	事務局	7人	7人	0人	
	美術館	13人	5人	8人	新規採用者8人 (会計年度任用職員7人 任期付採用職員1人)
消防部門	消防	185人	185人	0人	新規採用者4人 退職者3人 失職者1人
合計		205人	197人	8人	

※組合定数条例で職員の定数は211人となっている。

(3) 年齢別職員構成の状況 (令和2年4月1日現在)

区分	20歳 未満	20~ 23歳	24~ 27歳	28~ 31歳	32~ 35歳	36~ 39歳	40~ 43歳	44~ 47歳	48~ 51歳	52~ 55歳	56~ 59歳	60歳 以上	計
職員数 (人)	3	17	36	38	20	17	28	24	6	6	9	1	205
構成比 (%)	1.5	8.3	17.6	18.5	9.8	8.3	13.7	11.7	2.9	2.9	4.4	0.5	100

2. 人件費の状況(一般会計決算)

区分	歳出額 (A) 千円	実質収支 千円	人件費 (B) 千円	人件費比率 (B/A)	(参考) H30年度の 人件費比率
令和元年度	2,229,457	16,238	1,486,564	66.7%	67.3%

3. 職員給与の状況

(1) 職員給与費の状況(一般会計の当初予算)

区分	職員数 (A)	給与費			計(B) 千円	1人あたり 給与費 (B/A) 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円		
令和2年度	205人	706,674	213,213	277,404	1,197,291	5,840

※1 職員手当には退職手当を含みません。
※2 特別職に支給される報酬は含みません。

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (令和2年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	259,310円	301,506円	42.1歳
消防職	286,632円	364,992円	35.0歳
宮城県(一般行政職)	319,143円	420,458円	42.2歳
国(一般行政職)	327,564円	408,868円	43.2歳

※平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

(3) 職員の初任給の状況 (令和2年4月1日現在)

区分	初任給	区分	初任給
一般行政職	大学卒 182,200円	宮城県 (一般行政職)	大学卒 189,600円
	高校卒 150,600円		高校卒 155,700円
消防職	大学卒 208,600円	国 (一般行政職)	大学卒 182,200円
	高校卒 169,900円		高校卒 150,600円

4. 職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(令和2年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	係長 主任	主幹	副館長	事務局次長	事務局長	
職員数	7人	3人	3人	5人	1人	0人	1人	20人
構成比	35.0%	15.0%	15.0%	25.0%	5.0%	0.0%	5.0%	100%

(2) 消防職の級別職員数の状況 (令和2年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主任	係長 所長補佐	出張所長 課長補佐 当直司令 主幹	次長 署長 副参事 分署長 指揮隊長	消防長	
職員数	57人	47人	19人	29人	20人	12人	1人	185人
構成比	30.8%	25.4%	10.3%	15.7%	10.8%	6.5%	0.5%	100%

5. 職員手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当支給割合 (令和2年4月1日現在)

区分	支給割合	手当の内容				
		区分	6月期	12月期	年計	増減(対前年度)
期末手当 勤勉手当		期末手当	1.300月分	1.300月分	2.600月分	
		勤勉手当	0.950月分	0.950月分	1.900月分	0.050月分
		計	2.250月分	2.250月分	4.500月分	0.050月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置：5%~15%						

(2) 退職手当支給率 (令和2年4月1日現在)

区分	手当の内容				
退職手当	区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
	支給率	自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分
勤奨・定年		24.586875月分	33.27075月分	47.7090月分	47.7090月分
1. その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~20%加算) 2. 1人あたり平均支給額：21,680千円					



—開館時間—
午前9時30分～午後5時
※最終入館は午後4時30分まで

—休館日—
毎週月・火曜日、祝日の翌日
年末年始・メンテナンス休館

—常設展観覧料—
一般：500 (400) 円
大学生・専門学生：400 (300) 円
高校生：300 (200) 円
小・中学生：150 (100) 円
※() は20名以上の団体料金

—所在・連絡先—
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢 138-5
TEL：0226-24-1611
FAX：0226-24-1448
Email：riasark.m@nifty.com
http://www.riasark.com

※展覧会の会期等は都合により変更となる場合があります。ご利用の際は事前にチラシやホームページ等にてご確認ください。

ご来館の際のお願い

当館では新型コロナウイルス感染症拡大防止策を実施中です。ご来館の際は**マスクの着用を必須**とし、左記の点にご留意ください。※マスクのない方は入館できませんのでご注意ください。

観覧料改定のお知らせ

令和3年度より、常設展の観覧料金が左記の通り改定となります。

区分	個人	団体
一般	500	400
大学・短大・専門	400	300
高校生	300	200
小・中学生	150	100

(2021年3月31日まで) (単位:円)

↓ ※団体は20名以上

区分	個人	団体
一般	700	600
大学・短大・専門	600	500
高校生	500	400
小・中学生	350	250

(2021年4月1日から) (単位:円)

お得情報 提示すれば無料です

フリーパスポートのご案内

圏域内の小・中学生を対象に宮城県内協定施設(博物館等)の常設展等を無料で利用できるフリーパスポートを当館受付で即日発行します。対象日は土・日・祝日、春夏・秋・冬休み期間の開館日(当館は全日無料)。発行は無料です。お気軽にご利用ください。※高校生には圏域内用のフリーパスポートがあります。

立体作品観察

りったいさくひんかんさつ

4月7日(水)～5月16日(日)

【観覧無料】

リアス・アーク美術館コレクション展

当館では開館以来、絵画や彫刻、工芸、版画など多くの作品を収蔵してきました。中には機会に恵まれず、庫内でお蔵を待ちわびている秀作も数多くあります。



題=感傷
作家=黒沼 令
制作年=2012年
素材・技法=朴・寄せ木
寸法=110×90×180cm

あれ?
この人体像...
所々に穴があいている...
...なぜなの?

N.E.blood21

「立体作品観察」と題した本展では、その中でも、素材や形状等が特徴的な立体作品約25点を紹介します。作品の素材感、質感等の細部までじっくり観察してみましょう。

vol.76 渡辺 綾展

わたなべ あや
絵画作品 (宮城県在住)

vol.77 草薙 裕展

くさなぎ ゆう
写真作品 (秋田県在住)

6月2日(水)～7月25日(日)

【観覧無料】

本展は東北北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画です。第76・77回目となる2名の作家を個展形式で紹介いたします。

リアスアーチ美術館

教育普及活動の記録展

ワークショップの軌跡

8月7日(土)～8月29日(日)

当館では開館以来、展覧会事業を行う一方、ワークショップでの工作教室や各種創作ゼミナールの開催、また学芸員の出前授業等による教育普及活動にも力を入れてきました。

本展ではその記録資料や工作プログラムなどを実際の制作物等も併せて展示し、その成果や魅力を紹介します。

【観覧無料】

コロナ対策万全でやります!!

新! 方舟祭2021

9月23日(木)～10月31日(日)

方舟祭(はこぶねさい)は当館主催の市民参加型文化祭です。表現活動を行っている方々の絵画・写真・手工芸等の展示を中心とした発表を週替わりで紹介します。6月初旬頃から参加者を募集する予定です。初めての方も大歓迎!お気軽にご参加・ご来場ください。

【応募・観覧ともに無料】

東日本大震災発生10年特別企画展

あの時、現在

そしてこれから

2022年
2月5日(土)～3月21日(日)

東日本大震災発生直後の状況と、10年を経た現在の状況を風景写真で比較し、復旧復興事業の成果と残された課題の検証や、「伝承すべきこと」の再確認、「震災記憶再生のための表現」を考察します。

また、当地域以外の震災後の状況や伝承施設等に加え、国内外の震災・大規模災害被災地情報を併せて紹介する予定です。

【観覧無料】

常設展

共通チケットで①②③をご覧いただけます。

① 歴史・民俗資料展示

「方舟日記」海と山を生きるリアスな暮らし

当地域の歴史民俗・生活文化を【食】をキーワードに紐解き、手描きイラストや写真を添えて紹介します。

身近なイベント、年中行事などのルーツや豆知識を紹介するミニ展示「方舟漂流記」。今期は「スポーツ」をテーマとして展示します。

② 収蔵美術作品展示

当館と関わりのある東北・北海道を中心とした美術家の作品約70点を作家紹介とともに展示します。

③ 東日本大震災の記録と津波の災害史

当館学芸員らが取材した記録写真と収集した被災物品に解説を添え、明治29年・昭和8年の津波災害史の資料等とともに展示しています。津波と地域文化の関係、海とともに生きる地域の未来を考えます。



ワークショップからのお知らせ

夏休み!

親子クラフト教室

親子でものづくりの楽しさを味わうクラフト教室を夏休み期間に開講します。

詳細は学校へ配布するチラシや7月頃の当館ホームページの記事をご覧ください。

【参加無料・定員8組・要事前申込】

「アブラゼミ」開講!

4月から翌年3月(毎月第2・4日曜日)までの通年ゼミです。絵画を基礎から学び、油彩画を制作します。参加は無料。高校生以上が対象です。詳細についてお気軽にご相談ください。

共催展覧会(予定)

- けせもい展 / 9月9～12日
- 気仙沼市立小中学校図工美術作品展・ユネスコ児童画展 / 11月5～7日
- 気仙沼市立小中学校児童生徒書きぞめ展 / 2022年1月21～23日
- 気仙沼支援学校児童生徒作品展 / 2022年1月21～27日
- 気仙沼南三陸フォトコンテスト入賞作品展 / 2022年2月中旬～3月

こんな時こそ絵を描こうよ!
リアス・ジュニア
絵画コンクール vol.5

本企画は気仙沼市・南三陸町の小学生を対象とした絵画公募展です。テーマは「あんなこと、こんなことしたよ」。入賞者には地域商品券(大賞112万円分、優秀賞115万円分)や図書カード(佳作11千円分)が贈られます。8月末に学校を通じて作品募集する予定です。小学生のみなさん!奮って応募ください!

※展覧会期は11月20日(土)～12月26日(日)です。
【応募・観覧ともに無料】



広域消防

令和2年消防統計



広域消防女性活躍推進オリジナルキャラクター
(左)かなえちゃん (右)みなみちゃん

令和2年の火災について 3年連続「火災死者ゼロ」を達成

当広域管内における令和2年の火災件数は23件(昨年、一昨年と同数)で、昭和47年の広域消防発足以来2番目に少ない件数となりました。

火災による負傷者は7人(前年比4人増)ですが、死者は0人で、3年続けて「火災による死者ゼロ」を達成することができました。

火災種別は、建物火災が13件(前年比2件減)、林野火災が4件(同4件増)、車両火災が1件(同2件減)、船舶火災が2件(同2件増)、その他火災が3件(同2件減)となっています。

出火原因別では、最も多いのが「電灯・電話等の配線(4件)で、次に「放火・放火の疑い」と「こんろ(3件)となっています。

月別では、最も多いのが5月と12月で5件となっています。

林野火災の防止について

これからの季節は、空気が乾燥し風が強く、ちょっとした不注意から林野火災が発生しやすい時期となります。

林野火災の原因は、たき火やたばこの投げ捨てなどによるものがほとんどです。貴重な財産を守るため火の取扱いは十分注意しましょう。(※野外焼却は法律で原則禁止されています。)

住宅用火災警報器の 維持管理について

ご自宅に設置されている住宅用火災警報器は正常に作動しますか?電池は切れていませんか?火災から「かけがえない命」を守る住宅用火災警報器の維持管理を徹底しましょう。

住宅用火災警報器は、設置から10年が経過すると、本体内部の電子部品が劣化して火災を感じしなくなる場合があります。そのため、本体の交換を推奨しています。「設置から10年」を目安に本体を交換しましょう。設置したときに記入した「設置年月」または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。



令和2年の救急について

令和2年の救急出動は3077件で、2733人が搬送されました。これは、一日平均8.4回救急車が出動し、圏域住民の26人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出動件数で358件、搬送人員で262人の減少となっています。

事故種別では急病が全体の約66%、年齢別では65歳以上の高齢者が約70%を占めています。

また、傷病程度別では入院加療が必要な中等症が約49%と最も多く、次に入院加療を必要としない軽症が約31%を占めています。

救急電話相談 ご活用ください

令和2年の出動件数3077件のうち、不搬送が355件あります。

そのうち緊急性なし等は220件、誤報・いたずら等は35件ありました。

本場に救急車が必要な方のために、限られた台数を最大限に活用できるよう、救急車の適正利用をお願いします。

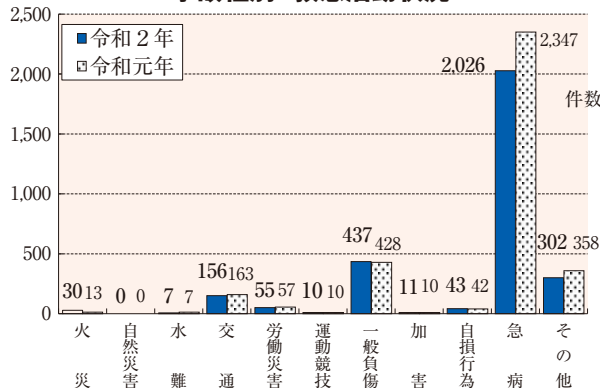
宮城県は、夜間・休日の急な病気やけがで、救急車を呼ぶべきか迷うときや、応急処置の方法が知りたいとき、相談ダイヤルを開設しています。

看護師等が、受診の必要性や医療機関を案内しますので、ご利用ください。

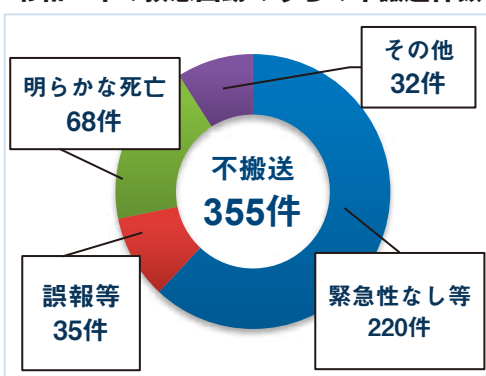
おとな救急相談 #7119

- 平日 19時～翌8時
- 土曜 14時～翌8時
- 日曜・祝日 24時間
- ◆こども夜間安心コール#8000
毎日 19時～翌8時

事故種別 救急活動状況



令和2年の救急出動のうちの不搬送件数



「緊急ですか?本当に!」



気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104 宮城県気仙沼市赤岩五駄鮫43番地2 TEL: 0226-22-6689 FAX: 0226-22-0119 メール: soumu@km-fire.jp http://www.km-fire.jp/

